

## 仙台空港線 駅名の正式決定」について

仙台空港鉄道株式会社(代表取締役社長八木功,本社仙台市)は、JR 名取駅～仙台空港間(営業キロ 7.1km)を結ぶ新線の建設中であり、平成 18 年度内の開業に向けて準備を進めております。

現在建設中の 3 駅につきましては、これまで「仮称」としておりましたが、本日の取締役会におきまして、下記のとおり駅名を正式に決定いたしましたので、お知らせいたします。

### 1 正式駅名とこれまでの駅名について

正式駅名	旧駅名(仮称)	備考
名取(なとり)	名取(なとり)	JR との分岐駅。当初から仮称をつけておらず、今回変更はありません。
杜せきのした(もりせきのした)	関下(せきのした)	関下土地区画整理地区のまちの愛称名
美田園(みたぞの)	下増田(しもますだ)	下増田土地区画整理地区のまちの愛称名
仙台空港(せんだいくこう)	仙台空港(せんだいくこう)	仮称を付けておりましたが、今回正式駅名といたします。

### 2 駅名決定の経緯

このたび名取市、名取市関下土地区画整理組合、名取市下増田臨空土地区画整理組合で構成する仙台空港臨空都市整備事業連絡協議会が中心となり、両地区の「まちの愛称」を公募し決定に至りました。

名取市長から、別紙のとおり、今回決定した「まちの愛称」を仙台空港線の駅名として採用するよう要望が寄せられました。

当社としても、駅の名称が新しい「まちの愛称」と一致することが望ましく、利用者にとって分かりやすく、今後永く使用する駅名としてふさわしいことから、名取市長からの要望を尊重し、正式駅名として決定することといたしました。

平成 17 年 7 月 1 日～7 月 25 日	まちの愛称公募期間
平成 17 年 8 月 17 日	まちの愛称検討委員会開催 (関下地区、下増田地区それぞれの愛称が決定)
平成 17 年 8 月 19 日	名取市長から「まちの愛称」を駅名とするよう要望を受ける。
平成 17 年 8 月 30 日	取締役会にて正式決定

### 3 今後の予定

会社から変更届(鉄道事業法第 7 条ほか)を東北運輸局に提出

## 1 会社概要

商号	仙台空港鉄道株式会社
所在地	仙台市青葉区本町三丁目6番16号
代表者	代表取締役会長 浅野 史郎 代表取締役社長 八木 功
設立年月日	平成12年4月7日
資本金	70億3千6百万円(平成17年7月現在)
免許年月日	平成12年6月14日
出資者	第一種鉄道事業免許(自らが敷設する鉄道線路を使用して旅客輸送を行うもの) 宮城県,仙台市,名取市,東日本旅客鉄道(株),(財)宮城県市町村振興協会, 岩沼市,東北電力(株),仙台空港ビル(株),(株)七十七銀行他 (全112団体、企業)
シンボルマーク	



## 2 建設計画

新線区間	JR 名取駅～仙台空港間 約7.1 km (東北本線区間を加えた全区間 17.5 km)
構造形式	単線・電化・高架形式
新設駅数	3 駅
運行計画	東北本線直通乗入れ(JR 東日本との相互乗入れ) 運行本数 2～3 本 / 時間 車両編成 最大 6 両編成
開業目標	平成 18 年度

至美田園駅



至名取駅

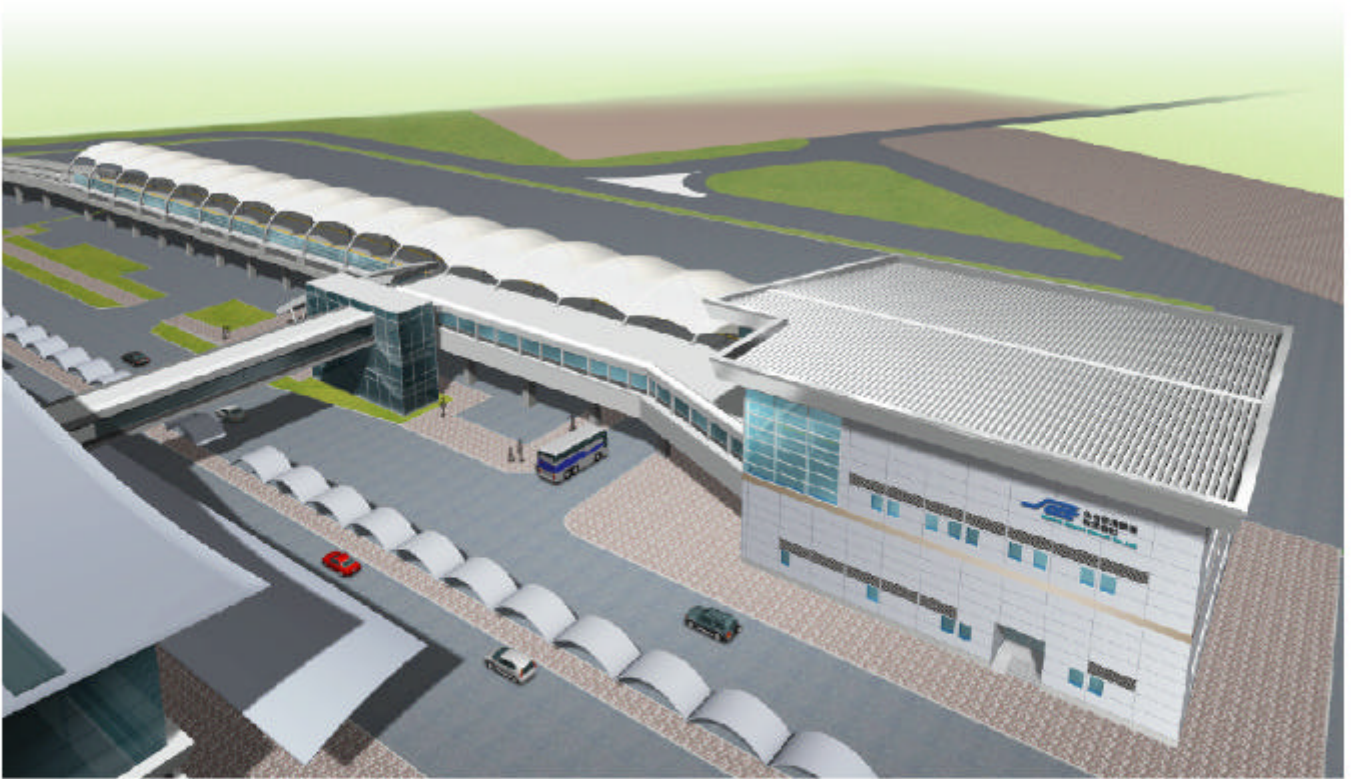
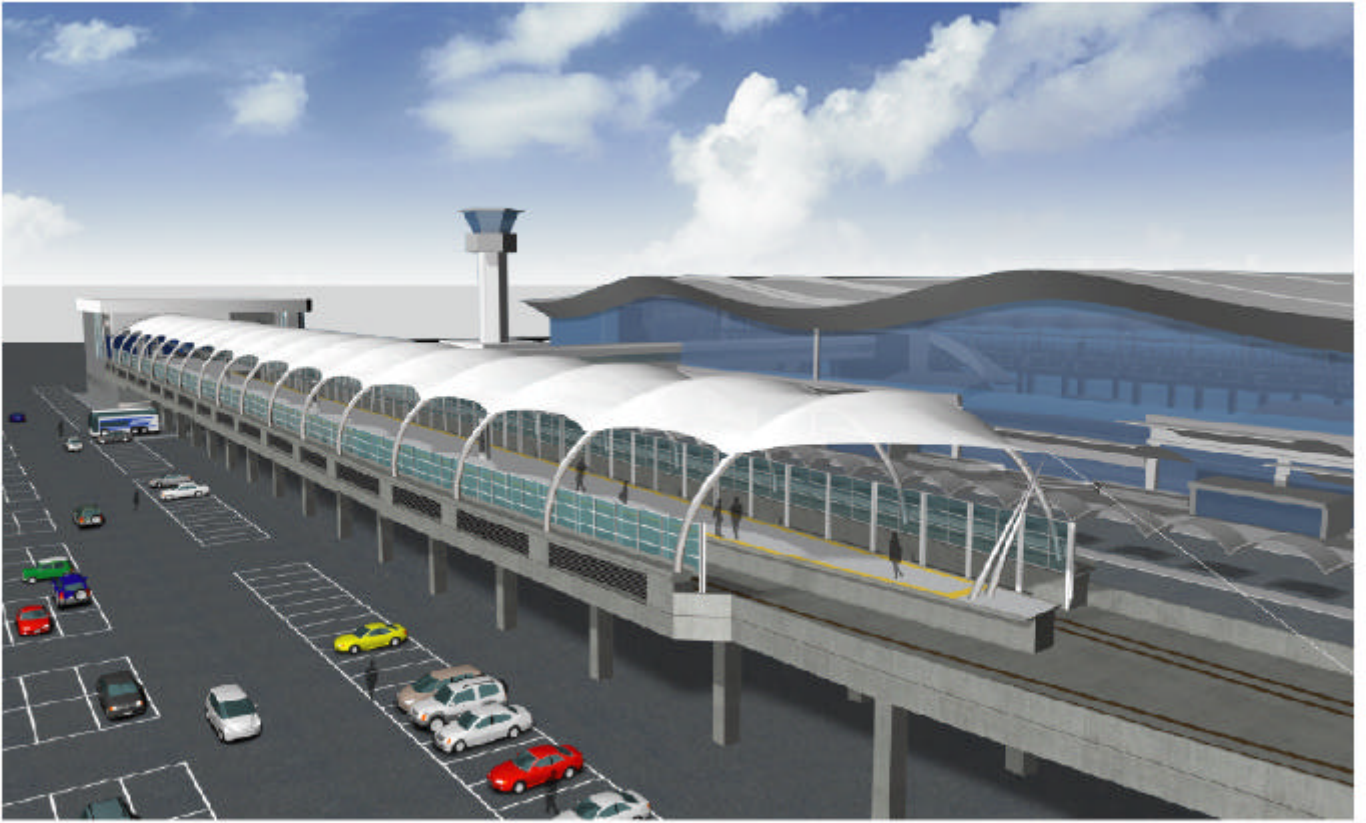


至杜せきのした駅



至仙台空港駅





名空発第123号  
平成17年8月19日

仙台空港鉄道株式会社  
代表取締役社長 八木 功 様

名取市長 佐々木 一十郎

仙台空港臨空都市整備事業区域内に新設される仙台空港線  
中間2駅の駅名について (要望)

残暑の候、貴職におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、「空路につなげ夢鉄路」のキャッチフレーズのもと、着々と整備の進む仙台空港線につきましては、名取市民はもとより県民挙げてその開業を心待ちにしているところであります。

特に、名取市においては、鉄道を核とした臨空都市整備事業のもと、更なる飛躍を目指し、実施主体である下増田臨空及び関下土地区画整理組合と連携を図りながら事業推進を図っているところであります。

さて、今般、仙台空港線中間2駅の駅名募集も兼ね、臨空土地区画整理事業区域のまち愛称募集を両組合と共催により実施し、下記のとおり駅名候補を選考いたしましたので、採用方について特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

1 要望駅名

- (1) 下増田駅(仮称)の要望駅名 「<sup>みたその</sup>美田園駅」
- (2) 関下駅(仮称)の要望駅名 「<sup>もり</sup>杜せきのした駅」

2 事業実施経過

仙台空港線の中間2駅については、現在、建設予定箇所の地名から下増田駅(仮称)と関下駅(仮称)となっております。

一方、土地区画整理事業区域内は、事業の進捗に併せ新たな町名を画し住所表示に切り替えることが通例であり、同様に臨空土地区画整理事業区域も近い将来新たな町名になることが考えられます。仙台空港線の駅名決定時期が本年8月末ということ踏まえた場合、臨空都市のシンボルともいふべき駅名と町名とが整合しないという事態が想定されるため、選考したまちの愛称をもって、仙台空港線の駅名として要望する旨明記した上で事業を実施したところであります。

なお、本事業については、市民に限定することなく実施し、県内外から多くの応募があったことを申し添えさせていただきます。